

希少リンゴの葉で茶 弘前・機能研 新製品発売

血糖値上昇抑制などの効果が期待される新製品「りんご葉の茶」



リンゴを使った機能性食品・飲料の企画開発などを手掛ける、医

果同源りんご機能研究所（本社弘前市、城田あい子代表取締役社長）は20日、新製品

「りんご葉の茶」を発売した。希少種「湖北海棠」の葉を焙煎した

茶で、血糖値上昇抑制などの健康効果が期待されるといふ。

県産業技術センターりんご研究所から譲り受けた湖北海棠の枝5本を接ぎ木で増やし、

現在は有機JAS認証取得の農園で177本を栽培。弘前市の自然食品店「油屋福六」と

連携するなどして、構想から約10年かけて製品化にこぎ着けた。

茶葉にはポリフェノール的一种「フロリジン」が豊富に含まれており、血糖値上昇抑制や抗加齢効果などが期待されるといふ。茶は薄紅色を帯び、ほんのり甘い香りがするが特徴。

21日まで中三弘前店地下1階の特設会場にブースを設け、新製品をPRしている。価格はいずれも税込みで、ティーバッグ1袋162円、5袋756円、15袋1890円。

同社公式オンラインショップで購入できるほか、弘前市と青森市の土産物店なども数量

限定で取り扱う。問い合わせは同社（☎0172-355931）へ。（田中康貴）